

ボーイスカウト東京世田谷第4団について

ボーイスカウト運動は健全な青少年の育成を目的とした世界的な社会運動です。正しい生活態度を身につけ、心身ともに健全な、明日の日本を担う立派な青少年を育成する、別の言葉で言えば「良き社会人」を育成する教育活動です。

この運動は1908年(明治41年)、英国のベーデン・パウエル卿が青少年の健全な育成を目的に創立されたもので、現在では世界169の国と地域、約4000万人が加盟する世界最大の青少年運動です。日本では、1922年(大正11年)当時の東京市長の後藤新平氏等により創立され、全都道府県に組織があり、全国の団数は約2,100団、スカウト・指導者合わせて約10万人が所属しております。

私共の『ボーイスカウト東京世田谷第4団』は昭和26年、駒沢地区の方々のお骨折りにより設立されました。東京のボーイスカウトとして98番目に誕生した団として、昭和55年迄は『ボーイスカウト東京98団』と呼ばれていましたが、昭和56年から地区別呼称制が採用され、現在の『ボーイスカウト東京世田谷第4団』(世田谷区内で4番目に発足した団)と呼ばれるようになり、65年の歴史を持つ団です。

この運動の特徴は、小学生から青年まで年齢に応じた5つの部門があり、3つの柱、即ち『野外活動』と『班制度』及び『進歩制度』をベースとした活動を行うことにあります。

入団するときには、年齢に応じた守るべきルール『ちかい』や『やくそく』をたてて参加し、年齢に応じた活動目標ののっとり活動を開始します。例えば、カブスカウト部門では、「ぼくはまじめにしっかりやります。カブ隊のさだめをまもります」との『やくそく』と、これを具体化した「1. スカウトはすなおであります。2. スカウトは自分のことは自分でします。3. スカウトはたがいに助け合います。4. スカウトは幼いものをいたわります。5. スカウトはすすんで良いことをします。」との5つの『さだめ』を実践することになります。

○『野外活動』では、自然に親しみ豊かな経験を重ねることで体力を高め基本的な人格を形成します。

○『班制度』では、年代に応じたグループ活動を行います。カブスカウトでは「組」、ボーイスカウトでは「班」で活動し、上下の年齢層の仲間とも活動することを通じて、豊かな人間関係を育みます。

○『進歩制度』では、部門毎にそれぞれ用意された課題に自発的に取り組むことで進級したり、興味に応じた課題に挑戦し、評価されバッジを貰うことを通じて知識・技能等を高め成長していきます。

このように体力・徳育・知力など人間力の育成に加え、国際交流の機会もあります。4年に1度、世界各地で各国の代表スカウトが集まり、世界ジャンボリー(大会)が開かれます。参加したスカウト自身の体験を通じて国際感覚を養うとともに、真の国際理解の道が開かれます。当団からは今まで開催されたアメリカ、イギリス等でのジャンボリーに多くの代表スカウトが参加し、国際交流の実をあげてまいりました。

◎当団では、新入団者を募集しております。

- ・正式な入団は4月、ビーバー隊は小1からですが、男女を問わず、随時、幼稚園年長以上の方のビーバー隊への事前申し込み、及びカブ隊・ボーイ隊への申し込みも受け付けております。
- ・地域的には駒沢・深沢・弦巻地区の方々为中心ですが、限定はありません。
- ・随時、入団希望者に対する説明会を行い、仮入隊の手続きをしております。興味がありましたら、
団本部または入団担当にお問い合わせ下さい。心よりお待ちしております。

現在のように情報の錯綜する時代こそ、周りの者が力を合わせ、素直でたくましい青少年を育成していくことが大切と思います。ご家庭のご理解のもとに、ぜひとも私達の仲間に加わって頂きたいと存じます。